

平成 29 年 度

**たばこ耕作資材委託試験最終成績検討会
総括コメント**

平成 30 年 2 月

公益財団法人 日本葉たばこ技術開発協会

農薬の部

殺虫剤

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
<p style="text-align: center;">フーモン</p> <p>薬効・薬害(モモアカアブラムシ) 官能検査</p>	<p>日本化薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:1,000倍希釈液 2回 茎葉散布で薬害はないが、効果が認められず、さらに試験が必要である(例数不足)。 官能検査:収穫10日および3日前の1,000倍希釈液 2回 茎葉散布で喫味に対する影響は認められないが、さらに試験が必要である(例数不足)。</p> <p>[備考]薬効・薬害の試験年(例数):H29(1)</p>
<p>コルト顆粒水和剤</p> <p>薬効・薬害(モモアカアブラムシ) 2倍量薬害 官能検査</p>	<p>日本農薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:4,000倍希釈液 1回 茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:2,000倍および 4,000倍希釈液 2回 茎葉散布で、薬害が認められない(終了)。 官能検査:収穫17日および10日前の 4,000倍希釈液 2回茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(平成29年度終了)。</p> <p>[備考]薬効・薬害の試験年(例数):H29(2)</p> <p>収穫10日前までの 4,000倍希釈液 2回 茎葉散布で可である。</p>

植物生長調節剤

資材名および試験対象	試験依頼社	総括コメント
<p>NH-009液剤</p> <p>薬効・薬害 (除草効果※) ※植付10日前まで 2倍量薬害</p>	<p>日本農薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:植付10日前までの200ml/10aおよび300ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:植付け10日前までの300ml/10aおよび600ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で薬害が認められない(終了)。</p> <p>[備考]薬効・薬害の試験年(例数):H28(2)、H29(1)</p>
<p>NH-009液剤</p> <p>薬効・薬害 (除草効果※) ※大土寄期 2倍量薬害 官能検査</p>	<p>日本農薬(株)</p>	<p>薬効・薬害:大土寄期の200ml/10aおよび300ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:大土寄期の300ml/10aおよび600ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で薬害が認められない(終了)。 官能検査:大土寄期の300ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(平成29年度終了)。</p> <p>[備考]薬効・薬害の試験年(例数):H28(2)、H29(1)</p> <p>植付10日前まで、または大土寄期 200~300ml/10a 1回 畦面・畦間の雑草茎葉散布で可である。</p>
<p>SBZ-018(処方変更)</p> <p>薬効・薬害 (わき芽抑制) 2倍量薬害 官能検査</p>	<p>(株)エス・ディー・エス・バイオテック</p>	<p>薬効・薬害:50倍希釈液 20ml/株 心止後 2回 スポット散布で薬害がなく、効果が認められる(終了)。 2倍量薬害:15倍および30倍希釈液 20ml/株 心止後 2回 スポット散布で薬害が認められない(終了)。 官能検査:30倍希釈液 20ml/株 心止後 2回 スポット散布で喫味に対する影響は認められない(平成29年度終了)。</p> <p>[備考]薬効・薬害の試験年(例数):H29(2)</p> <p>心止後の30~50倍希釈液 20ml/株 2回 スポット散布で可である。</p>
<p>バスタ液剤(処方変更③)</p> <p>官能検査</p>	<p>バイエルクロップサイエンス(株)</p>	<p>官能検査:大土寄期 300ml/10a 1回 畦面・畦間・雑草茎葉散布で喫味に対する影響は認められない(平成29年度終了)。</p> <p>植付10日前まで、または大土寄期 200~300ml/10a 1回 畦面・畦間の雑草茎葉散布で可である。</p>

肥料および土壌改良剤の部

肥料・土壌改良材

資材名および試験対象	試験依頼社	総 括 コ メ ン ト
<p>ネガアップ 堆肥</p>	<p>多木物産(株)</p>	<p>慣行堆肥の代わりに60kg/10aで代替する処理を実施した。</p> <p>生育経過: 初期生育および心止期に明らかな差はみられなかった。 成熟経過: 成熟期の上位葉の展開はほぼ同等だが、色落ちは同等からやや遅い傾向にあった。</p> <p>品質収量: 1試験地は品質同等で収量かなり劣り、1試験地は品質優り収量やや優るが、明らかな差はみられなかった。</p> <p>たばこ用堆肥代替材として使用可能である。ただし、施用量および経年施用については、地力や資材特性を踏まえて考慮する必要がある。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">合格</div>

- 1 会議内容 平成29年度たばこ耕作資材委託試験総括コメント決定打合会(最終)
- 2 会議主催者 東京都港区芝大門1-10-1全国たばこビル
(公財)日本葉たばこ技術開発協会
- 3 開催日 平成30年2月22日(木)
- 4 開催場所 全国たばこビル 7階会議室
- 5 出席有識者 (公財)日本葉たばこ技術開発協会 常任委員
- 三宅 康彦 元日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 所長
(農業機械、農業経営)
- 鳥越 則昭 元日本たばこ産業(株)沖縄原料本部長
(遺伝育種)
- 横山 昌雄 (公財)日本植物調節剤研究協会 専務理事
(植物生長調節剤・除草剤)
- 松沢 春雄 東京農業大学総合研究所 客員研究員
(殺菌剤、殺虫剤、病害虫防除)
- 長谷川 勉 元日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 副所長
(栽培生理、病害虫防除)
- (公財)日本葉たばこ技術開発協会 専門委員
- 古賀 一治 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 主任研究員
(殺菌剤、殺虫剤、病害虫防除)
- 深澤 直人 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 研究員
(植物調整剤、病害虫防除)
- 千田 浩之 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 副主任研究員
(栽培生理、本畑資材、肥料・土壌改良剤)
- 長村 一男 日本たばこ産業(株)葉たばこ研究所 研究員
(栽培生理、苗床資材、機械・乾燥)

※カッコ内は各委員の専門分野